



「誰もが住み続けられるまち武蔵野」を目指して

武蔵野市とUR都市機構が包括連携協定を締結しました

～武蔵野緑町パークタウンとサンヴァリエ桜堤の地域医療福祉拠点化の取り組みに着手～

武蔵野市と独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」という。）は、平成30年2月8日（木）に包括的な連携協定を締結しました。

この協定は、UR都市機構が市内で管理している賃貸住宅団地（武蔵野緑町パークタウン、サンヴァリエ桜堤）とその周辺地域を対象に、両者がこれまで様々な形で取り組んできた連携・協力を今後も継続・発展させ、多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まちづくりを進め、「誰もが住み続けられるまち武蔵野」を実現していくことを目的とするものです。

■連携協力事項

- (1) 地域包括ケアシステム（まちぐるみの支えあいの仕組みづくり）の推進
- (2) 若者世帯を含む幅広い主体の参加・連携による地域活性化
- (3) 地域社会全体で子育て世代を支える仕組みの構築
- (4) 多様なライフステージ・ライフスタイルに応じた住環境づくり

あわせて、UR都市機構は武蔵野市と連携して、市内のUR賃貸住宅団地において地域医療福祉拠点化の取り組みに着手します。



お問い合わせ先

●UR都市機構 東日本賃貸住宅本部

多摩エリア経営部 ストック・ウェルフェア推進課 担当：田中、大宅

(電話) 042-595-9215

総務部 総務・法務課 広報担当：前田 (電話) 03-5323-2555